

救急車を呼んだけど、消防車も来た!?

「救急車を呼んだのに、消防車まで来た!」「火事が発生している訳でもないのに、消防車が出動している!」とビックリされる場合もあるかも知れません。これは、「**PA連携（救急支援）**」といい、消防ポンプ車（**Pumper**）と救急車（**Ambulance**）が連携して早急の救命処置及び円滑な救急活動を行うことをいいます。消防車にもAEDや応急処置器材を積載し、消防隊員も救急隊員と同じ救急資格を持った隊員が乗っていますので、ご安心ください。

消防車がPA連携(救急支援)で出動する場合はこんな時です

- ・119番入電時に心肺停止が疑われる時。
- ・2階以上に傷病者がいて、搬送が困難な時。
- ・交通量の激しい場所等で、傷病者や救急隊員の安全を確保する必要がある時。
- ・消防防災ヘリ（消防防災航空隊）を運用する時。
- ・その他救急隊の活動を支援する必要があると判断した時。
- ・現場直近の救急車が出払っている時など、救急隊到着までに時間がかかる事が予測される場合に、救急隊到着まで消防隊が応急処置を行う時。

PA連携（救急支援）活動は、救命率向上・被害の軽減を目的としています。
皆様のご理解・ご協力をお願いします。



◆◆消防車のサイレンは区別できます◆◆

火災の場合

『ウ〜ウ〜』 + 『カンカン』
サイレン音 鐘の音

火災以外の場合(PA連携、救助など)

『ウ〜ウ〜』
サイレン音

水戸地区メディカルラリーに参加しました

11月14日、茨城県庁舎及び敷地内を会場としたメディカルラリーに、市消防本部救急隊員と常陸大宮済生会病院の医師・看護師が、救急医療チームを組んで参加しました。

メディカルラリーとは、消防機関と医療機関の連携強化・救急医療体制の向上・救急業務の高度化を目的とし、医師・看護師・救急隊員が数名一組となって救急医療チームを編成し、救急現場に出動した想定に基づき救命する過程を評価するラリー形式の訓練競技です。

県内消防本部・医療機関から14チームが参加し、救急医療のさらなるレベルアップを図りました。

